



「学習と部活動の両立」に取り組み、大村高校の様子をお知らせします。

大高インフォメーション

ホップステップ

<http://www.news.ed.jp/omura-h/>

〒856-0835 長崎県立大村高等学校 大村市久原1-59-1 TEL.0957(52)2680

保護者の方へ メールマガジンにご加入ください。

**JUMP!**

## 第92回選抜高校野球大会

「21世紀枠」県推薦校に決定しました!!



選抜高校野球「21世紀枠」県推薦書の授与式

その他にも大村高校生が大活躍です!!

**第5回たまごニコニコ料理甲子園  
決勝大会 グランプリ** (全国1位)

岡田 瞳子 (3-8玖島中出身)

**第6回豆乳料理レシピ甲子園  
郷土料理部門 最優秀賞** (全国1位)

濱川 由衣 (3-8西大村中出身)

**人命救助で感謝状** を受けました

馬場 一穂 (3-5初中出身)

原 大和 (3-5大村中出身)

秀島 青 (3-5豊玉中出身)



### チームで紡ぐ

長崎県立大村高等学校  
校長 鶴田 勝也

「皆さんは、UFOの存在を信じますか?」という問いから始まった講演会を今回は紹介します。この講演会は、「小惑星探査機『はやぶさ2』・チームで紡ぐ宇宙探査の夢」という演題で、その探査機のカプセル設計に携わったJAXA(宇宙航空研究開発機構)の宇宙科学研究所准教授 山田 哲哉 先生を講師に招いて行われました。

ところで、小惑星探査機「はやぶさ」というと、地球からの電波が途中で途絶え、宇宙空間を彷徨いながらも奇跡的な地球への帰還を果たし、故郷にもなるくらい大きな感動をもたらした探査機です。今回の「はやぶさ2」は「はやぶさ」後継機として小惑星表面の地下サンプルを地球に持ち帰るという新しい技術に挑戦した探査機で、2014年12月の打ち上げから2020年末の地球帰還という6ヶ年計画の探査を行うそうです。そもそも探査する小惑星には太陽系が生まれた頃の水や有機物が今でも残されていると考えられており、地球の水がどこから来て、生命を構成する有機物はどこでできたのかという太陽系の誕生と地球生命誕生の神秘に迫るとても夢のある目的を有した探査計画だそうです。

このミッションを成し遂げるためには、ロケット発射の技術、宇宙探査や通信の技術、サンプル回収の技術、地球突入時のカプセル保護技術、軌道や落下位置の計算など多

種多様な技術が集結されているとのことでした。そして、それらの技術開発やこの探査そのもののプロジェクトには、莫大な時間と費用、人材が投入され、しかも国境を越えた協力体制がとられているとのこと。お話の中で山田先生は、それぞれの分野で編成されたチームが、同じミッション達成のため知恵を出し合いながら苦難を乗り越えるチームワークの積み重ねこそが大きな成果に繋がっていくことを強調されました。初号機の「はやぶさ」のトラブルでも決して諦めることなく、チームとして可能性を探り続けた結果、奇跡の帰還を果たしたとのこと、まさに演題の「チームで紡ぐ宇宙探査」であると感銘して聴くことができた講演会でした。そして、宇宙探査など科学の進展において国際協力が大切であるように、グローバルな問題においても国境を越えて人類の英知を結集して対処することができれば平和な世の中になるのではないかと希望も抱くことができました。

さて、令和という新しい時代が始まり、大村高校でも全国優勝をはじめ各種大会コンクールでの結果やSSH事業への取組など新たな活躍が多く見られました。まさに新たな大高の歴史が刻まれているとあります。これも互いを認め合いそれぞれに刺激を受けながら切磋琢磨し、新たな創造を育む「チーム大高」の成果ではないかと大変嬉しく思います。今後とも「チームで紡ぐ新たな大高」を目指して邁進していきたいものです。

結びに、今年も残すところあとわずかとなりましたが、来たる新しい年で、生徒諸君、先生方、保護者の皆様、大高に関わる全ての方々にとって、希望に満ちた光り輝く素晴らしい1年になることを祈念して、今年最後の巻頭言といたします。

## SSH 活動紹介

### ◆大村視てあるき (第1学年)

10月28日(月)、第1学年全生徒を対象に、「大村視てあるき」を実施しました。これは、身近な自然や地域を学びの場とし、自然や地域を科学的・多角的に捉えることを通じ、「問題に気づく力」や「探究の基本」を学ぶためのものです。数理探究科は1日かけて地学巡検(大村の地質についての講義とフィールドワーク)に取組みました。普通科・家政科は、午前中は13のグループに別れ、近隣の研究所・事業所を訪ねて研修を行いました。午後は、クラスに戻り、自身の振り返りと小グループに分かれたの研修報告(4コマプレゼン)を行い、「伝え合う力」を高める活動に取組みました。



### ◆SS探究Ⅰ：連携講座 (第1学年)

11月18日(月)、第1学年全生徒を対象に「SS探究Ⅰ：連携講座」を開催しました。これは、県内外の10外部機関から講師をお招きし、身の回りの事象についての興味関心を高め、問題を見出す力の向上や探究の着眼点・基本的手法を身につけるためのものです。最先端の研究内容から身体や食品などの身近な話題まで、幅広い「サイエンス」に触れることができ、生徒たちの見方や考え方は大きく変容しました。



### ◆SS探究ⅡC：連携セミナー (第2学年家政科)

2年生家政科は、自らの学びや生活の中にある「サイエンス」に気づき、積極的に活用する姿勢と科学的根拠に基づいて判断・行動する力を高めるために、外部機関と連携したセミナーを開催してきました。2学期に開催したセミナーは、表の通りです。これらのセミナーを通じ、生徒の科学リテラシーを高めることができました。

実施月	セミナー名	テーマ
9月	食品×サイエンス	魚を知って食べて健康になろう
10月	環境×サイエンス	水の循環のしくみと水質改善の取り組み
11月	健康×サイエンス	インテリジェントな生活



## 家政科 活動紹介

### 小学校授業支援

3年家政科生が大村小学校5年1～3組の家庭科の授業支援を行いました。ミシンの扱い方やエプロン製作の支援を行いました。全員が時間内にエプロンを仕上げることで満足した様子でした。また家政科3年生にとっても被服製作の基本を確認する機会となり、有意義な交流学習となりました。



### 保育園実習

10月30日(水)2年家政科生が「子どもの発達と保育」の授業の一環として、市内8ヶ所の保育園で保育実習を行いました。笑顔で迎えてくれた子ども達と触れ合うことで、たくさんのパワーをもらいました。慣れない仕事もたくさんありましたが、今まで気付かなかった保育士の仕事内容やその大変さ、また喜びを知る機会ともなり、充実した体験となりました。



### 郷土料理講習会

11月12日(火)3年家政科ではフードデザインの授業の一環で、伊川京子氏を講師として迎え「大村寿司、だいにんの煮なます、じゃがいも団子の吸い物」を作りました。



### お魚料理講習会

11月6日(水)、長崎県漁協主催の魚料理講習会を2年家政科で実施しました。この日は、用意していただいたアジとイカを1人1匹ずつさばき、お刺身とイカの湯引き、アジのみそ汁を作りました。みんな一生懸命に取り組んでいました。



## 《部活動結果報告》

○国民体育大会

剣道 少年女子の部団体 2位

滑艇 少年女子選手カテゴリー 5位

○長崎県新人体育大会

ソフトテニス 女子 団体 優勝(9連覇)

ボート競技 男子 総合優勝

テニス 男子 団体 総合2位

テニス 女子 団体 3位

登山 女子 2位

剣道 女子 団体 2位

○全九州新人陸上競技大会

男子 400m 1位 河内祥吾(1-3 郡中出身)

○長崎県高等学校総合文化祭 以下は令和2年度全国高校総文祭(高知大会出場権獲得!!)

【文芸】部活動部門 最優秀賞(6年連続)「鐘時雨」

詩部門 最優秀賞

俳句部門 最優秀賞

【美術】絵画部門 優秀賞

【放送】アナウンサー 優秀賞(2年連続)

※その他の主な個人優勝を含む結果については、学校のHPを御覧ください。

○全国高校文芸コンクール

部活動部門 奨励賞「鐘時雨 89号」

長崎県として15年ぶりの受賞の快挙

川崎淳平(3-7 島島中出身)

高木東理(1-5 郡中出身)

立野聖一(2-6 郡中出身)

山口雄大(2-7 千鶴中出身)

## 人生の達人セミナー 開校記念日講演会

10月31日(木)、本校で同窓会の協力とSSH推進委員会の共催で、開校記念日講演会が実施されました。講師は、本校昭和57年卒(第34回生)、出口小児科医院長 出口典美さんで、テーマは「The Neuroscience Of Decision-Making」でした。

普段、めったに聞くことのない「脳科学」分野の研究の話に加え、医師を志した理由、医師となってからこれまでの取り組み(病院の経営、大学や留学先での研究、学会への参加、東日本大震災へのボランティアなど)、そしてこれから取り組みたいことや今後の目標について講演頂きました。生徒目線のわかりやすい講演で、生徒からの質問も活発に出た意義深い時間となりました。



## 芸術鑑賞会

10月23日(水)にWISH-Caravan Quartetをお迎えして芸術鑑賞会が行われました。

WISHのみなさんと一緒に「窓ダンス」を踊ったり歌ったりして楽しく過ごしました。



## 数理探究科 活動紹介

### 研究所訪問研修

12月5日(木)、数理探究科1年生30名は、佐賀県伊万里市の佐賀大学海洋エネルギー研究センターを訪問し、研修を受けてきました。ここでは湿度差発電の最先端研究が行われており、その第一人者池上康之教授から、直接講義を受け、施設見学に続いて実験施設で計測実習を行うなど自然エネルギー研究の一端に触れてきました。また、研究の醍醐味や意欲を持ち、努力を続けることの大切さなど、生き方にも通じる貴重な教訓をいただくなど貴重な体験ができました。



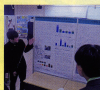
### 英語プレゼンテーション研修

11/15(金) 数理探究科2年生は、英語プレゼンテーション研修を実施しました。12月のアメリカ研修が目前となり、現地高校生への課題研究の紹介のために、英語での発表です。日頃の英語表現の学習を活かして、外国人講師の前に、緊張しながら説明をしました。講師の先生方に分かりにくいところを指摘していただいたので、修正して海外研修本番に臨みます。



## 理科部 活動紹介

10月19日(土)に開催された第25回科学研究発表大会に、ポスター発表に3チームが出場しました。研究テーマは「廃材を利用した水質浄化」「大村市内河川の河口における希少な貝類について」「カニは水を採取できるのか」で、いずれのチームも自信をもって研究成果のプレゼンを行いました。結果は3チームとも優良賞でしたが、審査員から希少な貝類の生息状況は大変興味深いとか、工夫を凝らした手作りの実験装置でのカニの実験・検証は面白いとか、大村湾を実際に浄化できたら素晴らしいというコメントをいただきました。これからも、希少な自然の保護につながる調査を行うことや、地域を改善するような研究に進んでいくことを部員の心に強く刻む機会となりました。



## 2年生数理探究科 アメリカ研修旅行

12月1日(日)～12月8日(日)の7泊8日の旅程で、数理探究科2年生27名がアメリカ研修にいきました。ネバダ州ラスベガス近郊のヘンダーソンにあるグリーンバレーハイスクールと交流しました。生徒はそこに通う生徒の家にホームステイしました。期間中は1校時から6校時まで授業に参加しました。

最終日には、英語による課題研究発表を40名の現地の生徒の前で行いました。グランドキャニオンへは悪天候のため降りることができませんでした。飛行機の上から景色を見ることができました。

次年度もグリーンバレーハイスクールと交流を行います。



## 2年生修学旅行

12月3日(火)～12月6日(金)の3泊4日の旅程で、東京への修学旅行に行ってきました。班別自主研修、フィールドアドベンチャー(社会問題解決型プログラム)、クラス別研修などによって将来に向けて見聞を広めることができました。特に、初めての試みであった2日目のフィールドアドベンチャーと呼ばれる研修は午前中に7つのツアーに分かれて、フィールドワーク、講義などを受けて、午後からそれぞれの社会問題に対する解決策をグループで議論し、発表するというもので、今後の生活にうまくつけていってほしいと思いました。旅行期間中、天候にも恵まれ、美味しいものを食べ、仲間と協力し合いながら過ごし、みんなの笑顔があふれていました。



皇居/御所参観



皇居参観



皇居参観



皇居参観/参観



皇居参観



皇居参観/参観



皇居参観



皇居参観/参観



皇居参観



皇居参観/参観



皇居参観